



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



全農のお肉工房さだもと店周年祭開催

詳細はP.14

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。



CONTENTS

食と農を未来へつなぐ。

- ・販売力強化による県産園芸農産物の取扱拡大

営農情報

- ・園芸野菜 病害虫防除情報

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀情報

- ・米穀情勢

肥料情報

- ・梨のおすすめ肥料について

資材情報

- ・納入パレットの適正管理について

トピックス

- ・世界少年野球大会参加者に千葉県産農産物を提供
- ・JA生活担当者研修会を開催
- ・味楽園さだもと店 全農お肉工房周年祭開催
- ・学校給食関係者に向けた商品提案の場「食育フェア」に出展
- ・千葉なしの魅力为消费者へ千葉なし味自慢コンテスト開催



食と農を未来へつなぐ。

JA全農ちばの取組状況
園芸直販

販売力強化による 県産園芸農産物の取扱拡大

県産農産物の販売力強化に向け、生協や量販店向け販売、加工・業務用需要への対応、輸出促進を重点に販路拡大をすすめています。関係機関や取引先との連携を強化し、多様な販売先の確保と県産農産物の取扱拡大に取り組んでいます。

1. 生協向け販売力強化

産地と連携した魅力ある商品提案や他県エリアへの販路拡大に向け取り組んでいます。また、生協宅配配送センター職員への学習会や生協組合員との産地交流会を実施し、販売拡大と産地への理解醸成をすすめています。



生協組合員との料理教室

2. 量販店販売と輸出拡大による対応強化

量販店との直接取引による販売体制の構築に加え、食品スーパー向けには仲卸との連携による新たな地域への販売を開始するなど販路を拡大しています。また、台湾、マレーシア、シンガポール、香港などを対象に輸出拡大を推進し、さつまいも、なし、メロンなどの輸出品目拡大に取り組んでいます。あわせて、成田市場を活用した効率的な輸出物流ネットワークの構築や輸出事業に係る人材の育成をすすめ、国内外における県産農産物の販売拡大を目指しています。



輸出国でのさつまいもフェア

3. 加工・業務用需要への対応強化

キャベツ、レタス、だいこん、にんじんを中心とした加工・業務用野菜の販路開拓をすすめるとともに、成長する冷凍青果物市場への販売強化をはかるべく、冷凍食品向けに原料販売を開始しました。また、規格外品・下等級品の取扱拡大をすすめ、食品ロス削減にも取り組んでいます。



加工用キャベツ

営農情報

園芸野菜 病害虫防除情報

1. はじめに

気象庁によると、むこう1か月の平均気温は平年よりも高く、降水量・日照時間はほぼ平年並みの見込みです（8月13日発表）。引き続き害虫の多発には十分注意しましょう。また、9月は台風の発生、接近が増加する時期です。気象予報に留意し、病害虫防除とともに、施設等の保全など事前対策を心がけましょう。

2. キャベツ（チョウ目害虫）

9～10月にかけてヨトウムシ・ハスモンヨトウ・オオタバコガ・ウワバ類などが定植直後の株に被害を及ぼし、特に生長点が食害されると欠株となります。10月以降はコナガの発生も増え、外葉の食害も増えてきます。そのため、9～10月は重要な防除時期です。定植後からの早期防除を徹底しましょう。

(1) ヨトウムシ類

ヨトウムシ、ハスモンヨトウは卵を1か所に200～300個の卵塊で産み付けます。孵化後、幼虫は周囲へ分散し、成長するにつれて食害の量を増やしていきます。そのため、防除が遅れると被害を抑えることが困難です。夏が高温少雨の年は発生が多くなりますので、早期防除を徹底しましょう。



ヨトウムシ卵塊



ハスモンヨトウ卵塊



孵化直後のヨトウムシ



ハスモンヨトウ若齢～終齢幼虫

(2) オオタバコガ

オオタバコガはヨトウムシと異なり、一卵ずつ点々と産卵するため、初期被害も点々としています。中齢幼虫以降になると結球内部に潜り込むため、被害は極めて大きくなります。

(3) コナガ

幼虫は葉肉だけを食害し、葉の表皮を残すため葉が透けて見えます。多発すると畑全体が白く見えるようになります。薬剤への抵抗性の発達が非常に速い害虫で、千葉県内ではジアミド系薬剤（IRACコード：28 フェニックスやプレバソンなど）の効果が低下しています。地域のジアミド系薬剤の効果に注意し、同じ系統の薬剤の連用、多用は避けましょう。



コナガの食害の様子

<チョウ目害虫防除のポイント>

ア. 若齢期（体長1 cmまでが目安）までに防除

同じ幼虫でも成長した後では薬剤の効果を十分に期待できませんので、発生前～発生初期の防除を心がけましょう。

イ. 薬剤のローテーション散布

同じ系統（IRACコード）の薬剤を連用・多用しないようにしましょう。

ウ. 葉裏まで薬剤がかかるようにたっぷり散布

幼虫は葉裏や結球内部に潜るため、丁寧に散布しなければ薬剤が行き届きません。特に、浸透移行性の無い薬剤は注意が必要です。散布液量を多めにするなども効果的です。

○キャベツ チョウ目害虫防除薬剤

対象害虫	IRACコード	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数
ハスモン・ヨトウムシ・コナガ	4 E	フィールドマストフロアブル	4000倍	収穫前日	2回以内
	2 2 A	トルネードエースDF	1000倍	収穫7日前	2回以内
ハスモンヨトウ・ヨトウムシ・オオタバコガ・コナガ	5	ディアナSC	2500倍	収穫前日	2回以内
	6	アフーム乳剤	1000倍	収穫前日	3回以内
	1 1 A	ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	収穫前日	—
	2 8	プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日	3回以内
	30	グレーシア乳剤	2000倍	収穫7日前	2回以内
		プロフレアSC	2000倍	収穫前日	3回以内
	UN	プレオフロアブル	1000倍	収穫7日前	2回以内
ヨトウムシ・コナガ	15	マッチ乳剤	2000倍	収穫7日前	3回以内
ハスモンヨトウ			3000倍		
コナガ	21A	ハチハチ乳剤	1000倍	収穫14日前	2回以内

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000倍登録→1000倍）

3. ねぎ（ネギアザミウマ・ハモグリバエ・シロイチモジヨトウ）

(1) ネギアザミウマ

食害された痕は写真のようにかすり状に色が抜けて白くなります。卵から成虫までの生育期間は適温下で2週間程度と非常に短く、薬剤の抵抗性も発達しやすい害虫です。そのため、集中的・定期的かつローテーション散布による防除が必要になります。梅雨が短く、高温乾燥な夏となった本年は、すでに県内一部地域でアザミウマの多発が見られています。引き続き注意しましょう。



ネギアザミウマ成虫



ネギアザミウマの食害痕

(2) ネギハモグリバエ ～新系統に注意！～

葉の内部に産卵され孵化した幼虫が葉肉を食害し、写真のような白い線状の食害痕を残します。4月ごろから発生し、年に5～6世代を繰り返します。被害は5月と8～9月に多く、暖冬や空梅雨・夏期の高温少雨は多発の要因となりますので、本年は特に注意が必要です。白斑が増加したら直ちに防除を実施しましょう。



ネギハモグリバエによる食害痕

〈新系統（B系統）ハモグリバエについて〉

近年では、従来のネギハモグリバエの遺伝子型（A系統）と異なる遺伝子型である別系統（B系統）の発生が確認されています。B系統は、従来系統と比較して葉に著しい食害痕が見られるほか、近接した食害痕同士が重なり葉が白化したような被害が見られます。激発すると、圃場全体が白く見えるようになります。一見すると高温によるしおれや、白色疫病などの病害に類似していますのでご注意ください。両系統を形態で識別するのは困難ですが、現時点で系統間の薬剤感受性（農薬の効き方）の差は明確になっていません。本虫の発生が見られたら、系統に関わらず薬剤防除を実施しましょう。



新系統（B系統）ハモグリバエによる被害

○ねぎ アザミウマ類・ハモグリバエ類防除薬剤

対象害虫※1	IRACコード	薬剤名	希釈倍数※2	使用時期	使用回数
アザミ類・ハモグ類	5	ディアナSC	2500倍	収穫前日	2回以内
	6	アフーム乳剤	1000倍	収穫7日前	3回以内
	14	パダンSG水溶剤	1500倍	収穫前日	2回以内
	28	ベネピアOD	2000倍	収穫前日	3回以内
	30	グレーシア乳剤	2000倍	収穫7日前	2回以内
アザミ類・ネギハモ	21A	ハチハチ乳剤	1000倍	収穫7日前	2回以内
	30	サイモディスDC	2500倍	収穫7日前	2回以内
ネギアザ・ネギハモ	4A	ベストガード水溶剤	1000倍	収穫前日	3回以内
	15	カスケード乳剤	4000倍	収穫14日前	3回以内

※1 アザミ類：アザミウマ類、ネギアザ：ネギアザミウマ、ハモグ類：ハモグリバエ類、ネギハモ：ネギハモグリバエ

※2 登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000倍登録→1000倍）

☆ねぎは農薬が付着しにくい作物です。展着剤（ハイテンパワー、スカッシュ、ニーズ、ドライバーなど）を加用しましょう。

園芸情報

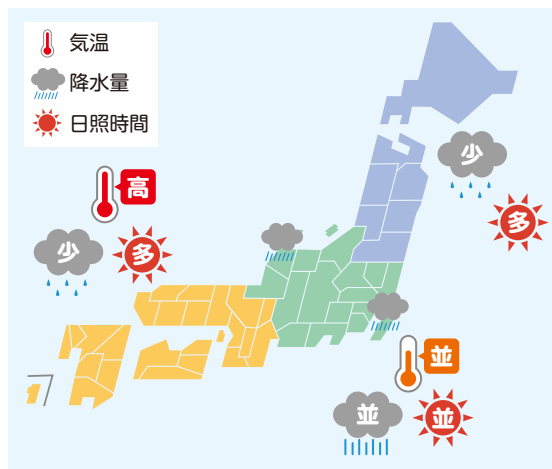
販売経過および情勢

青果物 8月の販売経過

8月の天候は、低気圧の影響を受けた日があったものの、西日本を中心に暖かい空気に覆われました。また、九州では過去最高の平均気温を記録した地域もみられました。

降水量は、湿った空気の流入が少なかった北・西日本でかなり少なくなり、東日本では平年並みとなりました。一方で、13日から14日にかけては「令和8年8月千葉豪雨」が発生したほか、27日には富山県と石川県、29日から30日には福井県で記録的な大雨となりました。

日照時間は北・西日本でかなり多く、東日本では平年並となりました。



【野菜】 東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は100,989 tと概ね前年並となりました。

さつまいもは生育期に適度な降雨もあり、干ばつとならなかったことから各産地生育順調であり前年を上回りました。にんじんは好天により北海道が潤沢な出荷であったため前年を上回りました。だいこんは上旬～中旬までは生育期の天候不順の影響により、北海道・青森の入荷量が少なく前年を下回りました。野菜の価格は入荷量が前年並みであったことから、前年並みとなりました。

【果実】 同市場の国産果実の入荷量は28,018 tと前年をやや上回りました。

なし類は好天に恵まれ本県産幸水梨も玉の肥大が良好だったこと、また豊水梨についても前進出荷となったことから前年を上回りました。りんご類は各産地大玉傾向であり前年をやや上回りました。

国産果実の価格は、入荷量がやや多かったことから、前年をやや下回りました。

※東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（8月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	100,989	100.5	308	98.2
果 実	28,018	107.6	638	92.3

JA全農ちばの販売状況（8月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	4,144	113	362	94	1,501	107
果 実 計	3,639	116	446	88	1,623	102
ほうれん草	15	108	811	107	12	116
ね ぎ	176	101	342	95	60	96
パ セ リ	9	94	1,282	81	12	76
き ゅ う り	360	119	357	121	128	145
ト マ ト	152	90	353	88	54	79
し し と う	50	85	1,441	114	73	97
とうもろこし	346	227	281	120	97	274
さつまいも	1,605	120	261	91	419	109
な し	3,353	118	463	86	1,553	102

9月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品 目	入荷量（t）		単価（円/kg）		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	15,951	並	88	群馬 岩手	群馬・岩手を中心とした出荷が続く。群馬は一部で小玉傾向となったものの、その後は回復し生育は概ね順調。出荷量は、価格ともに概ね前年並みを見込む。
だいこん	やや少	7,781	やや高	138	北海道 青森	北海道が7月の天候不順の影響から、上旬の入荷量が前年をやや下回る見込み。価格は入荷量の減少に伴い、前年をやや上回る見込み。
にんじん	やや少	6,427	やや安	150	北海道	北海道は品質不良が多く、前年を下回る出荷量となる見込み。量販店等の荷動きも鈍く軟調な販売展開が続くことから価格は、前年を下回る見込み。
トマト	やや多	4,952	やや安	649	千葉 福島 北海道	夏秋・抑制産地ともに高温の影響は限定的であり生育は順調で、平年を上回る出荷量が見込まれる。このため、価格は前年をやや下回る見込み。
きゅうり	やや多	6,200	やや安	448	福島 群馬 埼玉 岩手	露地作は盆前までの低温と曇雨天で遅れており、後続の抑制作は生育良好なため、出荷が重なり順調な入荷を見込む。価格は入荷増に伴い前年をやや下回る見込み。
ねぎ	やや多	3,499	やや安	459	北海道 青森 秋田	生育及び肥大は良好で出荷量は前年をやや上回る見込み。価格は上旬から給食需要が始まるものの、小売・量販店の荷動きが鈍く軟調な販売展開となる見込み。
ほうれん草	やや多	549	やや安	1006	群馬 栃木	涼しい気候が続く、各産地の生育は順調なため前年を上回る出荷量となる見込み。葉物類全体的に順調な出荷が続いており、価格は前年を下回る見込み。
パセリ	やや多	23	やや安	3,248	長野 千葉	主力産地である長野は生育順調なため、前年を上回る出荷量を見込む。数年間、夏場に高値が続いたことで業務需要が低迷しており、価格は前年を下回る見込み。
さつまいも	やや多	3,040	やや安	291	千葉 茨城	生育期の天候が比較的順調だったため、潤沢な出荷が見込まれる。気温高が続く消費が鈍いことに加え、貯蔵物の出荷も多かったため、滞在庫もあり苦しい販売を見込む。
なし	やや多	8,045	やや安	443	栃木 福島 茨城 千葉	生育及び肥大は良好で着果も多く、出荷量は前年を上回る見込み。価格は後続産地の出荷も多く需要を上回る供給量となることから軟調な販売展開を見込む。

花 販売情勢

◆8月の販売経過【切花】

前年は降雨量が少なく、加えて猛暑となった影響から、品目ごとに出荷時期にバラツキが見られ不安定な出荷状況となりました。本年は各産地で生育が順調に推移するなか、中心となる高冷地で前進傾向が見られたことから、月前半に出荷が集中し、月後半は品薄となる出荷状況となりました。

販売では、8月盆の中心品目となる菊類について、上旬は需要の高まりを背景に安定した販売となりました。中旬についても、生育前進傾向から品薄となり、不足感から平年高での販売となりました。洋花については、高冷地の前進出荷から品薄となる中で、洋花を用いた仏花が好評であったことに加え、アレンジメント需要も堅調であったことから安定した販売環境となりました。

◆今後の見通し（10月）【切花】

10月は出荷産地が高冷地から暖地へ移行する時期となりますが、近年は夏場の猛暑が厳しく、台風等の気候状況にも影響されるため、品目によっては不安定な入荷状況となることが懸念されます。

販売については、ブライダルシーズンとなり、週末にかけては洋花中心に動きが出る見込みです。また、気温の低下にともない、枝物やオレンジ・茶系商材については秋の季節商材として需要が高まる見込みです。さらに、下旬のハロウィン需要に向けた動きも見込まれます。



◆今後の見通し（10月）【品目別】

品 目	作 柄 お よ び 概 況
カーネーション	国産品は、生育が概ね順調に推移しているため暖地の下位等級中心に平年並みの入荷量となる見込み。輸入品においては、南米・中国産中心の入荷となる中、為替の影響から平年を下回る入荷量となる見込み。 ブライダル等業務需要中心の販売となる見込み。
ガ ー ベ ラ	静岡・千葉などからの出荷。 新植分が本格的に出荷となる時期であり、月末にかけて各産地出荷増量となる見込み。 ブライダル需要を中心の販売となる見込み。
鉄 砲 ユ リ	兵庫・秋田は、下旬にかけて減少し、10月中に出荷終了となる見込み。後続の岐阜・高知については、下旬に向けて徐々に出荷増量となる見込み。 葬儀等業務中心の販売となる見込み。
トルコキキョウ	10月中旬までは福島・秋田等の高冷地からの出荷が中心となり、下旬になると静岡・福岡等の西南暖地からの出荷が始まる見込み。台風や夏場の高温の影響次第では産地の切り替えがうまくいかず、不安定な出荷となることが懸念される。 ブライダル需要中心の販売となる見込み。

米穀情報

米 穀 情 勢

1. 令和8年産水稻8月15日現在における作柄概況（農林水産省8月31日公表）

(1) 全国の10aあたりの収量の平均比見込み

全国の収量は、前年を「やや上回る」が24道府県、「平均並み」が19都県、「やや下回る」が3県となっています。なお、千葉県については「やや下回る」と見込まれています。

田植期（5月）以降、総じて多照で推移しているものの、一部の地域において、7月及び8月の日照不足や多雨の影響がみられたためです。

【図表1】10a当たり収量の平均比見込み（区間ごとの都道府県数）

10a当たり収量の平均比見込み	都道府県数
上 回 る （対前年比106%以上）	0
やや上回る （対前年比105%～102%）	24
平均並み （対前年比101%～99%）	19
やや下回る （対前年比98%～95%）	3
下 回 る （対前年比94%以下）	0

※1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10a当たり収量の平均比見込みである。

※2 沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。

※3 10a当たり収量の平均比見込み（8月15日現在）は、その後の気象が、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。

※4 10a当たり収量の平均比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10a当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10a当たり予想収量は、8月15日現在では未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

【図表2】水稻の年次別推移（全国）

年 産	作付面積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			ふるい目幅 1.70mmで選別 収穫量 (子実用)	10a 当たり 平均 収量	作況 単収 指数
		10a 当たり 収量	対前 年比	収穫量 (主食用(生産者ふるい上米))	10a 当たり 収量	収穫量 (主食用(生産者ふるい下米含む))	作付面積 (子実用)			
	ha	kg	%	t	kg	t	ha	t	kg	
平成28年産	1,381,000	531	103	7,322,000	544	7,496,000	1,478,000	8,042,000	536	101
29	1,370,000	517	97	7,077,000	534	7,306,000	1,465,000	7,822,000	538	99
30	1,386,000	511	99	7,081,000	529	7,327,000	1,470,000	7,780,000	536	99
令和元	1,379,000	514	101	7,061,000	528	7,261,000	1,469,000	7,762,000	534	99
2	1,366,000	508	99	6,906,000	531	7,226,000	1,462,000	7,763,000	515	99
3	1,303,000	515	101	6,698,000	539	7,007,000	1,403,000	7,563,000	514	100
4	1,251,000	511	99	6,390,000	536	6,701,000	1,355,000	7,269,000	513	100
5	1,242,000	515	101	6,390,000	533	6,610,000	1,344,000	7,165,000	512	101
6	1,259,000	519	101	6,519,000	540	6,792,000	1,359,000	7,345,000	513	101
7	1,367,000	526	101	7,181,000	547	7,468,000	1,425,000	7,790,000	514	102

2. 令和8年産米刈取進捗状況について

刈取開始日は地域差がみられたものの、全体的に前年より遅く、特に印旛地区では前年より6日遅い刈取となりました。9月4日現在の刈取進捗は千葉県全体で62.2%と前年よりも遅い進捗状況となっています。

収穫前に大雨により浸水倒伏したほ場は、すみやかに排水につとめる等、品質低下が心配されるお米については出荷の際に十分留意をしてください。

【図表3】令和8年産水稻刈取進捗状況（9月4日現在）

農業事務所名	年度	収穫面積 (ha)	刈取開始日 (月日)	項 目	調査基準日（上段：令和8年度、下段：令和7年度）								刈取完了日 (月日)
					7月31日	8月7日	8月14日	8月21日	8月28日	9月4日	9月11日		
					8月1日	8月8日	8月15日	8月22日	8月29日	9月5日	9月12日		
千 葉	R8	2,928	8月4日 (-3)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	50 1.7	100 3.4	208 7.1	768 26.2	1,537 52.5			
	R7	3,160	7月31日 (-9)	面積 (ha) 進捗率(%)	45 1.4	112 3.5	196 6.2	963 30.5	1,769 56.0	2,598 86.6	2,818 93.9	11月30日 (+13)	
東葛飾	R8	2,940	8月8日 (-2)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	0 0.0	2 0.1	104 3.5	331 11.2	779 26.5			
	R7	2,935	7月30日 (-14)	面積 (ha) 進捗率(%)	10 0.3	60 2.0	120 4.1	204 6.9	348 11.8	1,271 43.3	1,838 62.6	11月20日 (+6)	
印 旛	R8	7,925	8月10日 (+6)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	0 0.0	8 0.1	380 4.8	1,580 19.9	3,853 48.6			
	R7	7,885	8月1日 (-4)	面積 (ha) 進捗率(%)	1 0.0	4 0.1	144 1.8	877 11.1	2,808 35.6	4,402 55.8	5,994 76.0	11月21日 (-8)	
香 取	R8	9,393	8月6日 (-1)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	5 0.1	51 0.5	1,761 18.7	4,367 46.5	6,240 66.4			
	R7	8,993	8月5日 (-3)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	19 0.2	475 5.3	4,178 46.5	6,080 67.6	7,169 79.7	8,515 94.7	10月30日 (+6)	
海 匠	R8	6,168	8月7日 (+1)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	1 0.0	7 0.1	50 0.8	1,666 27.0	3,611 58.5			
	R7	5,871	8月2日 (-6)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	3 0.0	234 4.0	1,439 24.5	3,839 65.4	5,138 87.5	5,699 97.1	10月7日 (-17)	
山 武	R8	8,189	8月6日 (±0)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	5 0.1	60 0.7	1,075 13.1	3,102 37.9	4,966 60.6			
	R7	7,820	8月2日 (-5)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	112 1.4	266 3.4	2,064 26.4	4,476 57.2	5,969 75.9	6,667 84.7	10月31日 (-6)	
長 生	R8	4,467	8月1日 (+1)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	35 0.8	348 7.8	1,248 27.9	2,968 66.4	3,902 87.4			
	R7	4,168	7月26日 (-7)	面積 (ha) 進捗率(%)	10.4 0.2	230 5.5	664 15.9	1,607 38.6	3,383 81.2	3,914 93.9	4,094 98.2	11月1日 (-17)	
夷 隅	R8	2,477	7月21日 (+1)	面積 (ha) 進捗率(%)	28 1.1	61 2.5	281 11.3	826 33.3	1,506 60.8	1,921 77.6			
	R7	2,437	7月19日 (-2)	面積 (ha) 進捗率(%)	35.0 1.4	64 2.6	346 14.2	863 35.4	1,743 71.5	2,072 85.0	2,258 92.7	10月26日 (-5)	
安 房	R8	2,513	7月25日 (-2)	面積 (ha) 進捗率(%)	2 0.1	66 2.6	193 7.7	562 22.3	1,435 57.1	2,062 82.0			
	R7	2,510	7月31日 (+3)	面積 (ha) 進捗率(%)	2 0.1	74 2.9	339 13.5	845 33.7	1,884 75.0	2,163 86.2	2,323 92.5	11月5日 (+10)	
君 津	R8	4,425	7月31日 (-1)	面積 (ha) 進捗率(%)	0 0.0	64 1.4	137 3.1	679 15.3	2,184 49.4	3,104 70.1			
	R7	4,372	7月26日 (-8)	面積 (ha) 進捗率(%)	18 0.4	207 4.7	574 13.1	1,751 40.1	3,287 75.2	3,814 87.2	4,135 94.6	10月31日 (-2)	
県 計	R8	51,425	7月21日 (+1)	面積 (ha) 進捗率(%)	30 0.1	287 0.6	1,187 2.3	6,892 13.4	19,906 38.7	31,975 62.2			
	R7	50,150	7月19日 (-2)	面積 (ha) 進捗率(%)	121 0.2	884 1.8	3,357 6.7	14,791 29.5	29,617 59.1	38,508 77.0	44,339 88.6	11月30日 (-12)	

（注）「刈取開始日」及び「刈取完了日」欄の下段は、対平年（5か年平均）遅速日数。（早い場合は－、遅い場合は＋で表す）

3. 米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針

ＪＡグループは、生産者の営農継続と米の需給・価格の早期安定を図るため、政府備蓄米の早期買戻し買入実施と、需給改善および価格安定に資する適切な価格水準での買戻しについて、国会議員や国に対し継続的に要請をしてきました。

9月2日農水省は放出した政府備蓄米のうち21万玄米トンを買戻すことを、食糧部会に諮り了承されました。また同日、食糧部会にて、米穀の需給及び価格の安定を図るため、米穀の需給の適確な見通しを策定し、これに基づき、整合性をもって、米穀の需給の均衡を図るための生産調整の円滑な推進及び米穀の供給が不足する事態に備えた備蓄の機動的な運営を行う基本指針を示しました。

急激な需給変動を避けるとともに、政府備蓄米の年産構成の適正化を図る観点も踏まえ、令和7年産米を対象に9月18日から買戻しが実施されます。

委員からは食糧安全保障の観点から政府備蓄米の適正在庫への回復を早急に実施すべきとの意見が出されましたが、農水省は今後、需給状況等を見定めた上で計画的に備蓄水準の回復を行うとしています。

4. 主食用米等の需給見通しについて（9月2日食糧部会より）

国が政府備蓄米21万玄米トンの買戻しを実施しても令和9年6月末民間在庫は246万トン～283万トンとなる見込みです。需給回復に向け、飼料用米等の水田活用米穀、麦、大豆等の戦略作物の生産拡大の推進を図ることを通じて、需要に応じた生産・販売に取り組む他、国への要請も継続的に行う必要があります。

【図表4】 令和7/8年及び令和8/9年の主食用米等の需給見通しについて

			万玄米トン			
			食糧部会7月	食糧部会7月 作付意向反映（6月末）	食糧部会9月	食糧部会9月 備蓄米買戻し反映
令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	A	155	155	155	155
	令和7年産主食用米等生産量	B	747	747	747	747
	令和7/8年政府備蓄米供給量	C	23	23	23	23
	令和7/8年主食用米等供給量計	D=A+B+C	925	925	925	925
	令和7/8年主食用米等需要量	E	683	683	683	683
	令和8年6月末民間在庫量	F=D-C	243	243	243	243
令和8/9年	令和8年6月末民間在庫量	F	243	243	243	243
	令和8年産主食用米等生産量	G ^{*1}	711	732	735~754	735~754
	令和8/9年主食用米等供給量計	H=F+G	954	975	978~997	978~997
	令和8/9年主食用米等需要量	I	693~711	693~711	693~711	693~711
	政府備蓄米の買戻し	J			—	21 ^{*2}
	令和9年6月末民間在庫量	K=H-I-J	242~260	263~281	267~304	246~283

※1 令和8年産主食用米等の生産量については、令和8年6月末時点の水田における作付意向や10a当たり平均収量（5中3平均）、8月15日現在における10a当たり収量の平均比見込みを考慮して、幅をもって設定したもの。8月20日までの営農計画書等の変更を踏まえた水田における作付面積や作物統計の調査結果により今後変更される見込み。

※2 政府備蓄米の売渡し（全体で59万玄米トン）に係る備蓄水準の回復は、供給不足になる状況避けつつ、適正水準に向けて着実に回復を図る観点から、令和9/10年以降も含め、今後、計画的に実施。急激な需給変動を避けるとともに、政府備蓄米の年産構成の適正化を図る観点も踏まえ、令和7年産米21万玄米トン（昨年度買入れを中止した数量に相当）の買戻しを進めるとともに、引き続き、今後の需給状況等を見定めた上で対応。

5. 令和9年まき種子もみの申込みについて

種子もみは毎年更新することで、品種特性（食味や品質等）を保持することができ、安定して高品質米を生産できることは産地の信頼につながります。

種子の申し込みは必要量を早めに確定し、申し込み漏れが無いようお願い申し上げます。

- **申し込み日**：令和8年9月30日までにJ Aに申し込んでください。
- **申し込み単位**：4 kg単位（10アール分）で申し込んでください。
- **種子配布時期**：令和9年2月頃から配布いたします。

価格は12月下旬以降に決まる予定です。お申込みのJ Aにご確認願います。

※当年産種子の生育状況や次年度に向けた対策等を踏まえ、低温貯蔵種子を配布する場合があります。

※追加申込のないようにご注文ください。また、申込数量が確保数量を超える場合、配布数量を調整させていただくことがあります。

※需給状況等により品種に不足が生じた場合には、数量・品種の変更をお願いすることもあります。

※種子ネットに貼付されている保証票は、収穫が終わるまで捨てずに必ず保管してください。保証票の提示がなく事故が発生した場合、保証の対象とならない場合があります。

※播種前に発生した不具合については、原則として種子の交換に対応いたします。この場合補償額は種子代金相当額を上限とします。

※種子及び包装の不具合等の起因により、配布した商品に不具合がある場合以外の返品は申し受けできませんので、ご注意ください。

6. 落花生の生育状況と今後の注意事項について

今年の6月は平年並みの気温で推移したため、高温傾向だった令和4年から令和7年までと比較して開花期が遅く、地上部乾物重は小さくなっています。7月中旬から8月上旬までに着莢から莢の充実期に当たるほ場（5月中旬から6月中旬は種）において、無かん水の場合には、空さやの発生や子実の充実不足の恐れがあります。



褐斑病

【台風等対策について】

8月13日の「令和8年8月千葉豪雨」により圃場が冠水した場合や、台風が接近した場合は、以下の対策をとりましょう。さらに、降雨や冠水による高温・多湿での白絹病の発生が懸念されます。薬剤散布だけでは十分な効果が望めない場合は、罹病株を株元の土ごと除去し、被害の拡大を防止しましょう。

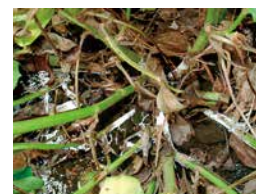
ア. 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ. ほ場が冠水した場合は、莢の腐敗を防ぐために速やかに排水する。

ウ. 台風後に病害が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて図表5を参考に殺菌剤を散布する。

エ. 強風による株の振動や大雨による流水のため、莢が地上に露出することがある。時間がたつと変色莢になるため、必要に応じて培土により土中に埋め戻す。

オ. 「ナカテユタカ」や「Qなつつ」などの立性品種は倒伏しやすいため、倒伏した場合は必要に応じて株を立て直す。



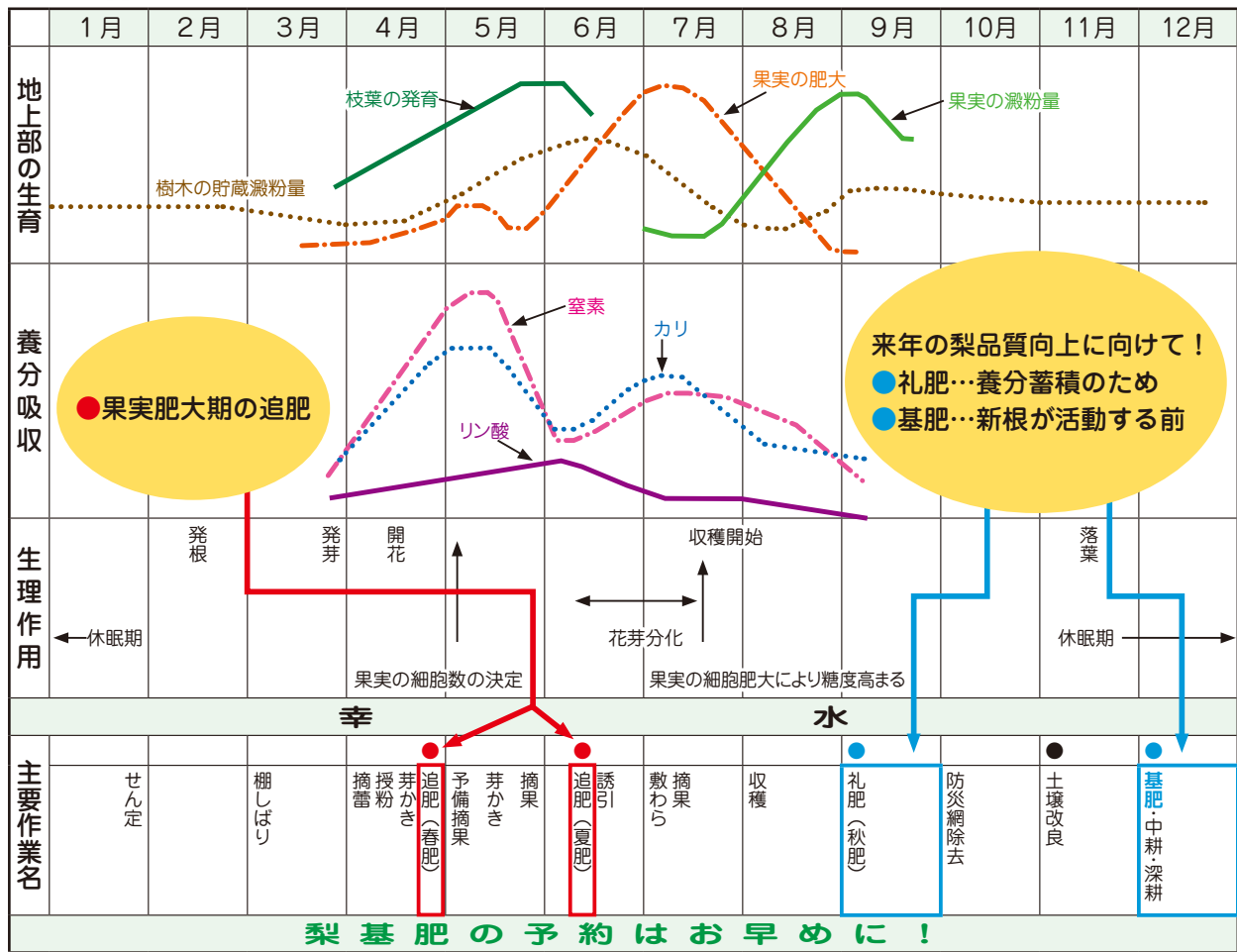
白絹病

【図表5】（防除薬剤（令和8年8月現在））

病害虫名	適用薬剤名	希釈倍数	使用時期/回数
ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで/2回
褐斑病・黒渋病	トップジンM水和剤	1,500~2,000倍	収穫7日前まで/4回
	ベンレート水和剤	2,000~3,000倍	収穫7日前まで/4回
白絹病	アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで/3回

肥料情報

梨のおすすめ肥料について



梨のおすすめ肥料一覧

区分	銘柄	有機割合	窒素	リン酸	加里	特長
基肥	シン・俺の梨ペレット	約70%	7%	8%	2%	マンガン入り、骨粉・カニ殻含むカリ過剰圃場に好適な安価品！
	梨ゲットペレット	約63%	8%	6%	5%	動植物有機入りのL型肥料品質の良い梨をゲット！
	梨姫ペレット	約69%	8%	5%	3%	「ぼかし」・動植物質有機入り「ぼかし」の効果で肥効アップ！
	輝きユーキ	約62%	8%	10%	4%	苦土・マンガン・ホウ素入り微量元素を加えて品質の良い梨へ！
追肥 礼肥	梨専用追肥S555	—	15%	5%	5%	硝酸態窒素4%含有マンガン・ホウ素入りの梨専用追肥
	野菜の達人	—	15%	14%	10%	ポーション状で早く溶け、土壌へ拡散しやすい 追肥、礼肥肥料の決定版！
土壌 改良材	アズミン	—	—	—	—	腐植酸40～50%・苦土3%含有
	レオグリーン特号	—	—	—	—	濃縮堆肥・匂いの気になる町場に最適



近年、梨園はカリ過剰圃場が散見されます。
土壌分析を実施し、適正施肥、土づくりに努めましょう。

詳しい使い方については千葉県指導機関またはJAにお問合せください

資材情報

納入パレットの適正管理について

メーカー名印字パレットを使用していないですか？

そのパレットは他社の資産かもしれません

メーカー名や企業名が印字されたパレットは、各メーカー・各企業が所有する大切な資産です。



使用前に確認しましょう

パレットにこのような表示はありませんか？

- | | |
|---------------|--|
| ✓ メーカー名 | 〇〇株式会社 |
| ✓ 企業名 | △△リース(株) |
| ✓ 所有者を示すロゴマーク | □□メーカー |
| ✓ 管理番号・識別表示 | 整理番号 A 123456
 |

※一例です。さまざまな表示があります。

このような行為は禁止されています

- | | |
|--------------------|---|
| ❌ メーカー名印字パレットの無断使用 |  |
| ❌ 無断持ち出し |  |
| ❌ 第三者への譲渡 |  |
| ❌ 無許可での廃棄・売却 |  |
| ❌ 他社資産の転用・保管 |  |

⚠️ 不適切な使用による影響 ⚠️

回収・返却対応の発生

資材管理コストの増加

取引先からの信用低下

発見したら確認を！

- 1 メーカー名・会社名を確認する 
- 2 使用可能なパレットか確認する 
- 3 不明な場合は供給元へ確認する 
- 4 使用後は適切に返却する 

✓ 見つけたら確認！
使う前に確認！

一人ひとりの確認が適正管理につながります。
他社資産の適正管理にご協力をお願いします。

※資料の一部はCopilotで作成しています。

TOPICS

世界少年野球大会参加者に 千葉県産農産物を提供

7月30日(木)から8月7日(金)にかけて、世界少年野球大会が成田市で開催され、世界12か国95名の子供たちが参加し、野球教室や国際交流試合が行われました。また期間中には、全農が特別協賛した親子で参加するスポー



ツ栄養教室が行われ、国産農産物の魅力を発信しました。また、千葉県内での開催となったことから、当県本部より、「千葉県産梨」50kg、「フルーツ&キャロットジュース」100本を提供し、千葉県産のPRを行いました。JA全農ちばは、引き続き県産農産物のPRと食育活動を通じて、地域農業の魅力発信と次世代の健やかな成長を応援していきます。



TOPICS

JA生活担当者研修会を開催



8月5日(水)、総合センターにて「JA生活担当者研修会」を開催しました。当研修会は、生活事業に関する知識の向上と担当者間の情報共有を目的として開催され、県内JAの生活担当者、直売所担当者、女性部窓口担当者およびメーカー担当者27名が出席しました。

研修会では、県本部から生活事業の取り組みについて説明をしたほか、Aコープマーク品や補聴器メーカー計5社による商品紹介が実施されました。商品に関する質問も活発に飛び交い、取扱商品の魅力や特徴について理解を深めることができました。

参加者からは「新しい発見があった」「他JAの取り組みを知ることができた」などの声が聞かれました。

今後も生活事業に関する情報提供や研修機会の充実を図るとともに、県内JAや関係機関との連携を一層強化し、生活事業の推進と利用者サービスの向上に取り組んでまいります。

TOPICS

味楽園さだもと店 全農のお肉工房周年祭開催

8月8日(土)、9日(日)にJAきみつ味楽園さだもと店に併設する全農のお肉工房で「周年祭」を開催しました。開店9周年を記念し、日頃ご利用いただいているお客様への感謝を込めて、房総ポークや千葉牛をはじめとした県産畜産物をお買い得価格で販売しました。期間中は多くのお客様にご来店いただき、お肉工房だけでなくJAきみつ味楽園さだもと店全体の集客と売上増加にも貢献しました。県産畜産物の魅力を直接PRする機会となったほか、直売所の利用促進にもつながりました。今後も各種イベントを通じて地域とのつながりを深めるとともに、県産農畜産物の消費拡大と店舗利用者の増加につなげていきます。



TOPICS

学校給食関係者に向けた商品提案の場
「食育フェア」に出展

8月19日(水)、ホテルポートプラザちばで開催された「食育フェア」に出展しました。

当会ブースでは、県産大豆を使用した冷凍豆腐や乾燥こんにゃくなど、学校給食向け商品の紹介を実施。来場した栄養教諭や学校栄養職員の皆さまに商品の特長や活用方法を紹介し、多くの方に関心を寄せていただきました。

会場では「こんな使い方もできそう」「給食に取り入れてみたい」などの声が聞かれ、終始活発な情報交換が行われました。学校現場のニーズを直接伺う貴重な機会となるとともに、県産農畜産物の魅力を発信する有意義な一日となりました。

今後も学校給食を通じて、県産農畜産物の利用拡大と食育活動の推進に取り組んでいきます。



TOPICS

千葉なしの魅力を消費者へ
千葉なし味自慢コンテスト開催

8月29日(土)、8月30日(日)に千葉県を代表する農産物「千葉なし」の品質向上と消費拡大を目的に、「千葉なし味自慢コンテスト」が開催されました。県内の生産者から125点のながしが出品され、色や熟度などを基準に厳正な審査を実施しました。会場となったイオンモール津田沼North 1階センターコートでは、買い物客が行き交う中で審査が公開され、審査員が果実を一つひとつ見極める様子を通じ、千葉なしの品質の高さや生産者の技術をPRしました。2日目には入賞果実の展示に加え、出品されたなしを袋詰めして即売会が行われ、多くの来場者に県産なしを手にとってもらいました。JA全農ちばでは、今後も関係団体と連携し、千葉なしのブランド力向上と消費拡大に取り組んでいきます。

賞 名	所属組合名	氏 名
農林水産大臣賞	白井市梨業組合	鈴木 教善
千葉県知事賞	白井市梨業組合	白井中央梨選果場組合 D
農林水産省農産局長賞	柏市果樹組合	濱田 亮
全国農業協同組合連合会千葉県本部長賞	JAいちかわ果樹部会	高梨 輝和



1日目審査の様子



2日目イベントの様子

秋の農作業安全月間

9月～10月は秋の農作業安全月間になります。耕うんや収穫等、農業機械を使用する機会が多くなりますので安全に十分注意してください。

忘れていませんか？ 安全対策



機械の転落・転倒防止
シートベルトの着用
ヘルメットの着用



令和8年 秋の農作業安全啓発活動推進中！

千葉県・千葉県農業機械士協議会
JAグループ千葉・千葉県農業機械商業協同組合

デザイン/令和7年度農作業安全ポスターデザインコンテスト 日本農業新聞 藤路結月
写真/編集/制作/「ちば」日本農業新聞社 印刷/複製/転載を禁じます

10/23^金

24^土

9:00～
15:00

第51回

農業機械大展示会

開催！

場所

酒々井プレミアム・アウトレット
第9駐車場
(印旛郡酒々井町飯積2-4-1)

詳しくはこちら



<https://www.zennoh.or.jp/cb/topics/2026/110392.html>

お知らせ

J A全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報
は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用
いたします。

発行/全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和8年9月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第195号
編集・発行部署/管理部 総合企画課
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

「アグリ情報ちば」の宛名・送付先の変更や送付の停止をご希望の方は、J A全農ちばホームページの
お問い合わせページにご住所・お名前を明記のうえご連絡ください。
新規お申込みをご希望の場合は、お電話にて承ります。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyofm
Life time audio 80.0

**ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN**

13:00～13:55 毎週^土 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。



15:50～16:00 毎週^土
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

SCHOOL OF LOCK!
THURSDAY 23:00

農業部

Supported by **全農**

23:00～23:06 毎週^土
農業について一緒に楽しく学びましょう。

送付先の
変更・停止



JA全農ちば
公式HP



JA全農ちば
公式Instagram

